「face to faceを科学する」月刊イベントマーケティング

EVENT MARKETING 42

December 28. 2018

特集
「Sport Innovation Summit」に学ぶ

シェアしたい
2018年のイベント

特別企画より
シェアしたい2018年のイベント

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 5F
TEL03-6721-5303　sofu@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp

ココロに残るイベント体験をつくる

8ページでは普段からイベント、体験プロモーションによく参加され、企画制作もされる方々に「シェアしたい2018年のイベント」をお聞きし、6つのイベントをご紹介いただきました。なぜ楽しかったのか、よかったのかのコメントもマーケティング・プロフェッショナル視点！「上質」「見事」とひとに伝えたくなって、プロがプロを称えたくなる2018年のイベントの紹介で、締めくくりと新年のスタートとさせていただきました。

さいきん思うんですが、こうしたプロ参加者がイベントに多く、それは翻ってみればイベント主催の層が広く厚くなってきているからなんですよね。

多ジャンルの方々がイベントを開催して、実験的な面白い取組みを繰り返したり、それをみたベテラン主催者が刺激を受けて取り入れたりする。2018年のイベントマーケティング編集部も、そんな分野をまたぎ、年代・イベントキャリアを超えたつなぎこみを微力ながらサポートする機会のふえた1年でした。取材者の立場から、現場に立ち会って汗をかく企画制作チームの一員になれたのは、とても楽しく視点と仲間のふえた2018年でもありました。

表紙では、2018年取材させていただいたイベントや場の一部をまとめています。あなたのココロに残るイベントはありましたか？それはなぜなんだろうと考える時間のお供になれば幸いです。

2019年もまた、新しい視野を広げ、仲間のふえる1年になりますように。

EventRegist
eventregist.com

＼そのお悩み、解決できるかもしれません／
イベント・セミナー主催者様向け
個別相談会実施中！

詳細・参加申込はこちら
https://eventregist.com/p/Eventregist-events

イベントレジスト株式会社
http://eventregist.com ｜ contact@eventregist.com

「Sport Innovation Summit」に学ぶ

ゴールデン・スポーツイヤーズ

ホスト・シティに必要なインサイト

11月29日・30日に「Sport Innovation Summit（SiS）」が開催された。

日本は、いま、ラグビーW杯2019、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会、2021年のワールドマスターズゲームズと続く「ゴールデン・スポーツイヤーズ」の直前。「地方を含め、日本が直面している課題を解決するチャンス」とも言われている。

SiSでは、ビッグイベントの仕掛け人から、スポーツを支える最新テクノロジーのIT企業、ナノテクノロジーの大学研究者、クラブチームのマーケティング担当者など多種多様なスピーカーが世界中から集い、ほぼ全編英語でのカンファレンスが展開された。

セッションの一部と、参加者の声から、日本がホスト・シティとしての役割を最大化するためのインサイトとはなにか探る。

Sport Innovation Summit Founder アーナウド・ドリジャード氏

【SiS解説】

Sport Innovation Summit（SiS）は2014年にメキシコでスタートした、スポーツやその周辺で起きているイノベーションに特化したカンファレンス。フランスでの開催につぎ、アジアで初めて東京での開催が行われた。

THEME BIG EVENT & LEGACY

観戦者だけでない体験、参加のチャネルづくり

「BIG EVENT & LEGACY」をテーマに登壇したのは、ラグビーW杯2019エグゼクティブ・ディレクターのロブ・アバーネシー氏、FIBA国際バスケットボール連盟3×3最高責任者のアレックス・サンチェス氏、競技場などのデザインディレクターでグローバルデザイン戦略家でもあるゲンスラー社シニアデザイナーのグレッグ・シャーロック氏だ。

ラグビーW杯2019エグゼクティブ・ディレクターのロブ・アバーネシー氏は、2019年のワールドラグビー・トーナメントのマネジメントを担当。ラグビーに関するチームサービス、イベントオペレーション、放送権、マーケティング、デジタルコンテンツ、広告、チケット、予算管理、ゲスト管理などに携わっている。アジア、イギリス、アメリカ、オーストラリアなどで20年間に渡り、主要な国内・国際スポーツイベントや国際スポーツ開発、大会運営、ブランドマーケティング、専門知識管理の活動を行ってきており、そのキャリアから、ラグビーW杯2019のイノベーティブな取組みやサステナブルなエコシステムの活動について言及した。デジタルコンテンツについては、2015年のイギリス大会では4億の動画が作成されたが、今回は数十倍を予定しており、Facebook（日英）、Instagram（日英）、Twitter（日英仏スペイン）、YouTube（マルチ）、Snapchat（英語のみ）のSNSプラットフォームで展開。アプリも用意している。

リアルなコミュニケーションの場としては、スタジオの近くにハンズオンを設置。14設ける予定という。ここでは一般のファンも無料で利用でき、試合をみたり、スポンサーブースが設けられたりするなど、サイドイベントの楽しみ方も披露された。

また、アレックス・サンチェス氏は前提を変えるイノベーションでのスポーツ発展について。グレッグ・シャーロック氏はベニュー建設後にどう進化すべきかについて複数の利用目的や拡大可能なサイズ、季節性などを検討すべきとした。

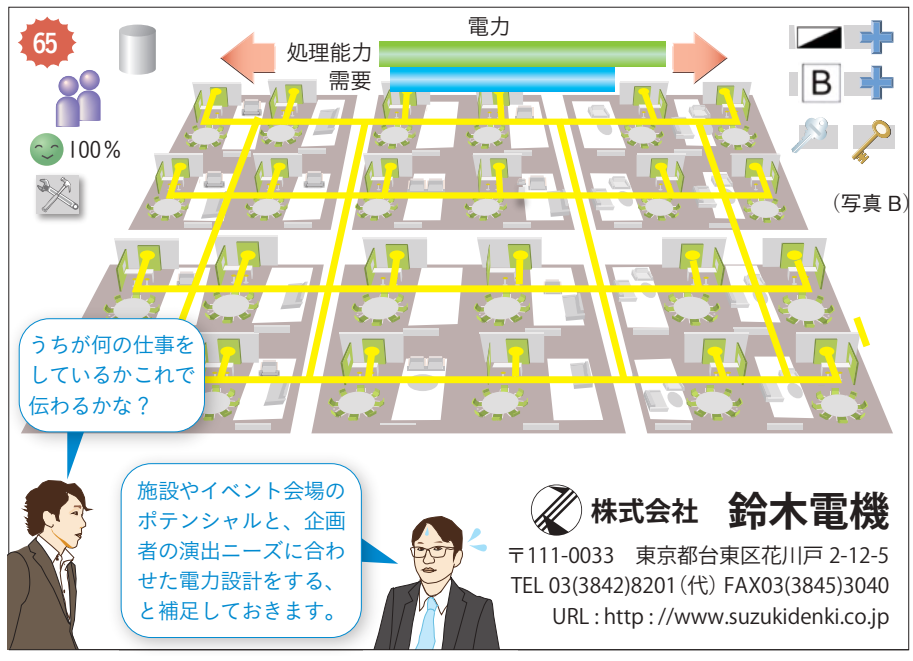
ラグビーW杯2019エグゼクティブ・ディレクターのロブ・アバーネシー氏。チケット販売はW杯史上過去最高。W杯を目的に40万人が海外から訪れると言われ、300万ポンド（約425億円）の経済効果を見込んでいると話す

move 感動 記憶に残る 体験

“心地の良い上質環境”と“景観も含めた一体感のある空間”をプロデュース
ユニークベニューや各地の歴史・文化・景観もイベント要素に取り組みながら、
大型テント内に、上質でかつ心地よい各種のイベント空間をプロデュースします。

総合レンタル業のパイオニア 西尾レントオール株式会社　TOTAL POWER by NISHIO

お問い合わせ
〒108-0022　東京都港区海岸3-20-20 ヨコソーレインボータワー1F
TEL：03-5765-9240　FAX：03-5765-3240
e-mail：mitsuyasu.ookubo@nishio-rent.co.jp（窓口：大久保）



株式会社 鈴木電機
〒111-0033　東京都台東区花川戸2-12-5
TEL 03(3842)8201（代）FAX03(3845)3040
URL：http：//www.suzukidenki.co.jp

イベントバズール
EventBuzzle

イベントを、もっとラクに、
もっと楽しくできるはず

いま、イベントバズールは、皆さまのお役に立つため、さらに見やすく、さらに情報を増やして、生まれ変わろうとしています。

http://eventbuzzle.com

ただいま、リニューアル中
もう少々お待ちください

THEME　FUTURE IS NOW

多様性がイノベーションには重要

初日、最初のセッションには「FUTURE IS NOW」をテーマに、ディスラプション、イノベーションの第一人者で、自身を”disruptionholic workaholic citizen of the world”（破壊中毒、仕事中毒の世界市民）と呼ぶNTT DATAのマーク・アルバ氏（写真左から2番目）、ファン・エンゲージメントの実現で大型国際大会やスポーツ組織もサポートするセールスフォース・ドットコムの保科実氏（同右端）、ナノテクノロジーの専門家でスマート・テキスタイルとスポーツ・アパレルへの応用について研究するコーネル大学の繊維学教授ユアン・P・ハイネストローザ氏（同右から2番目）といったフィールドもスポーツ界へのアプローチもまったく異なるイノベーターが登壇した。

繊維学教授ユアン氏は、ナノテクノロジーでリアルタイムに体温や乳酸値を計ることのできるウェアなどについて語り参加者を驚かせていた

東京開催を誘致した宇陀栄次氏も「この多様性がイノベーションには重要」と話す通り、スタートからスポーツが最新のテクノロジーによってどう進化するか、その裏側を知る3氏による最前線のスポーツとその未来が語られた。その後も、アスリートやマーケター、フィジカル・メンタルのディレクター、eSPORTS大会責任者など、各分野の一線で活躍するプロが議論やネットワークをする場となった。

参加者の声

ハンググライダー日本代表選手

鈴木 由路さん

「SiS」へは、アスリートとしてスポーツ全般を盛り上げたい思いと、ハンググライダーの普及活動のなかで競技のみの大会をみせるイベントにしたい思いがあり世界のモデルケースを聴こうと参加しました。「BIG EVENT&LEGACY」のなかで、ラグビーW杯でハンズオンをスタジアム外につくるという話には競技以外にも満足感づくりの必要性を感じ、FIBA 国際バスケットボール連盟のアレックス氏がこれまで5×5だったバスケを3×3で楽しんでもらえるようした話には前提を変えるというヒントをもらい、アイデアが浮かびました。「SPORTS TOURISM」では2020年には4000万人のインバウンドがあると聞いて、現在富士山に向かって飛ぶ体験会を実施しているので訪日外国人向けにする案もありだと思いました。次回SiSはワークショップのプログラムもしてほしいですね。

参加者の声

スポーツイベント研究所
上席研究員

太田 正治さん

セッションを受けて感じたのは少子高齢化社会にすでに成ってきており、各競技アスリート人口も減って、JOC正加盟団体（53団体）以外にスポーツの多様化で新しい競技も増えてきていることから、スポーツ競技間でアスリートの取り合いの時代になってくると思われた。

一方、スポーツ庁は来年からゴールデン・スポーツイヤーズと位置付けており、2020年は通過点であり、4つの指針の「社会」を変えると位置付けている。その様な前提でスポーツ観戦も“スポーツ好き”のためのものから、スポーツ観戦の楽しみ方にシフトしてきている。ライブ観戦においてもVOGO　Sportsは2秒後に再生ができ、スローモーション再生もできるので“俄かレフリー”ができたりする。そのため、観戦者の多様な満足をファンエンゲージメントで大きな勝利を掴んでいくと思われる。もちろん競技ルールもデータビジネスの成長で大きく変わってきている。これからの企業のスポンサーシップ市場においても変化をもたらしてくると思われる6つのスポンサーシップ達成目標に、CSRが加わり、最近はCSVと言う観点が強く成ってきているので就活を意識したゲームが生まれてくると思われる。

SiSは、スポーツ未来開拓会議の2025年までに5,5兆から15,2兆円とスポーツビジネスが巨大な産業に成る裏付けを感じる内容であった。最後に私も高校から社会人までアメリカンフットボール競技を行ってきたのでサンフランシスコ49ersのMoon　Javaidさん(写真下）の話を聞いて新たな“モチベーションの源”が生まれました。

THEME　SPORTS TOURISM

スポーツによる地域活性化は可能か

●デービッド・アトキンソン 氏

元金融アナリストで日本の伝統建築の修復会社の代表も務めるアトキンソン氏は、33年ぶりのプロ野球観戦に「なにも進化していない。昭和体験をしているようだ」とバッサリ。

観客席を歩く売り子を客が待つというスタイルに対し、一律に庶民向けのサービスしかなく、ラグジュアリー層からの収益機会をロスしていること、アプリによる注文・配達などによる効率化の必要性を指摘した。

米国のスポーツ市場規模が拡大した理由として、ショー要素の取り入れや託児所整備、観光客も簡単にチケットが取れるしくみなど、ファミリー層をターゲットにしたエンターテイメント化に成功したことをあげ、日本のようにマニアのためのものにしたままでは、スポーツのもつ潜在力を活かせないと語った。

労働人口が42.5%減少する日本人を絶滅危惧種と捉えて、スポーツの保全のためにも、海外からの観光客を受入れスポーツツーリズムの環境整備への期待を語った。

●原田宗彦 氏

日本スポーツツーリズム推進機構代表理事の原田宗彦氏は、既存のプロスポーツによる海外からの集客ではなく、ファンランやサイクリングなどアクティビティ型スポーツの潜在的市場掘り起こしを提案。スポーツイベントは、旅をする理由を人工的に作れるとして、多くの都市で取り組めること、森林や河川が多い日本の風土が武器になると語った。

メガイベント日本開催の流れを、地域活性化につなげるか。国内外でスポーツビジネスに携わる日置貴之氏が専門家3人の知見を引き出す

●アンドレ・リシュリュー氏

ケベック大学モントリオール校のアンドレ・リシュリュー教授は、国や都市がスポーツ施設やスポーツイベントへ投資することは、消費者がチームや選手に抱く感情的な繋がりを、都市の付加価値へと昇華させるマーケティングツールになると、考えを述べた。

イベントの企画、機材、会場、グッズ…など全てが出展

日本最大※ 490社※が出展

第6回
イベント総合EXPO

2019年 2/27(水)・28(木)・3/1(金)　10:00～18:00（最終日のみ17:00まで）

主催：リード エグジビション ジャパン（株）　会場：幕張メッセ

同時開催　第6回 ライブ・エンターテイメント EXPO　第2回 地方創生 EXPO　第2回 スポーツ ビジネス 産業展

※同種の展示会との出展社数および製品展示面積の比較。　※出展社数（共同出展社を含む）は最終見込み数字です。

セミナーを計49本開催！

E-S1　企業ブランディング/販促①　2月27日[水]10:00～11:00
デジタル時代のイベントとは？
～トヨタのファン・マーケティング～
（株）デルフィス
常務取締役 土橋 代幸

E-S3　企業ブランディング/販促②　2月28日[木]12:30～14:00
アサヒ飲料が展開するブランド・マーケティング
～ ファン育成イベントやESG活動による「価値創造」～
アサヒ飲料（株）
執行役員 マーケティング本部長 大越 洋二

※一部抜粋　※敬称略。都合により講師、プログラムが変更になる場合もございます。

［お問合せ］主催者 リード エグジビション ジャパン株式会社　イベント 総合 EXPO 事務局
メール：eventexpo@reedexpo.co.jp　TEL: 03-3349-8510

セミナー申込・招待券請求（無料）はこちら▸▸▸ イベント 総合 EXPO 検索
招待券をお持ちでない場合、入場料￥5,000／人。

2月開催！主催者インタビュー

「第87回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2019」
「第59回インターナショナル プレミアム・インセンティブショー春2019」

アクティブ・健康・社会交流キーワードに

「第87回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2019」をはじめ、専門性の高い4つの同時開催展で、全4000社の出展者が集まる国際見本市。主催するビジネスガイド社代表取締役の芳賀信享さんに見どころを伺った。

株式会社ビジネスガイド社 代表取締役　**芳賀 信享** さん

2月12日から15日までの4日間、東京ビッグサイト全館で「第87回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2019」を開催します。今回のテーマは「健康でアクティブな暮らし方への挑戦PART Ⅱ」。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を1年後に控え、また少子高齢化社会到来といったなかでの消費動向を捉え、このテーマにしました。

売り方みせ方を展開 コト提案のエリアも

売り方の提案としてユニークなのは、今回「第25回グルメ＆ダイニングスタイルショー春2019」内でおコメの楽しみ方を提案する『ごはんフェス®Professional 2019 Spring』。もともと「表参道ごはんフェス®」としてBtoC向けに展開していたものをBtoBのバイヤー向けにも、とはじまったコラボ企画です。おコメや加工食品、器や調理器具など、売り方みせ方を提案する場所になります。(写真左下)

また同ショー内では、生産者とバイヤーをつなげる『FARMSTEAD EXPO 2019 SPRING』という企画を展開します。現地とライブでつなぐ生産者トークライブ、斬新な演出を設えたエキシビジョン、デザイン・ブランディングセミナーを交え、新たな試みを用意しています。交流の枠組みは展示会期間外にもはみ出していて、11月には飲食店でBUYER'S MEETINGを実施、そして2019年初夏には北海道十勝地方でFARM TOURSという農場視察ツアーも予定しています。

9月に日本上陸する 誠品書店のセミナーも

展示だけでも4000社が展開しますが、同時に会議棟で行われるセミナープログラムも充実しています。

特に、2019年9月に日本に上陸することで話題の書店が登場。「アジアで注目の書店が日本上陸へ　誠品書店(台湾)の戦略と成長モデル」をテーマに、誠品生活日本橋のOperarion DirectorのLucy Pan氏、有隣堂専務取締役の松信健太郎氏、文化通信社専務取締役の星野渉氏に登壇いただきます（写真右下）。

＊　＊　＊

東京ギフト・ショーとインターナショナル プレミアム・インセンティブショーが同時開催されるのは2019春ショーが最後。秋の開催では、「東京ギフト・ショー秋」が9月3日から6日東京ビッグサイトで、「インターナショナル プレミアム・インセンティブショー秋」は10月16日から18日池袋サンシャインシティ文化会館での開催となる。

アジアで注目の書店が日本上陸へ 誠品書店（台湾）の戦略と成長モデル

講師 Lucy Pan氏　講師 松信 健太郎氏　司会 星野 渉 氏

同時開催

第59回インターナショナル プレミアム・インセンティブショー春2019

「未来の販促・広告・集客・マーケティングを大公開」をテーマに、200社が集まる。2018年の1年間に展開された数多くのプロモーションの中から優れたプランニングに贈られる「第28回日本プロモーション企画コンテスト 表彰式&受賞者プレゼンテーション」を実施。また、SP業界若手育成集中セミナーなども行われる。

【2018年度受賞企画一覧】

北斗の拳35周年×京急120周年記念
北斗京急周年のキャンペーン
実施企業：京浜急行電鉄株式会社／株式会社ノース・スターズ・ピクチャーズ

サッポロ生ビール黒ラベル
「41種から選べるビヤグラスプレゼント」キャンペーン
実施企業：サッポロビール株式会社

生活習慣サポートサービス
「特茶プログラムはじまる！」キャンペーン
実施企業：サントリー食品インターナショナル株式会社

今年は甘いプレゼント！
ゼスプリ KIWI THE HERO キャンペーン
実施企業：ゼスプリ インターナショナル ジャパン株式会社

毎週一生分のいいもの当たる「ドリームチャンス」
実施企業：ソフトバンク株式会社

「コカ・コーラ」FIFA ワールドカップキャンペーン
実施企業：日本コカ・コーラ 株式会社

ぷっちょあーん
4 Dゴーグル AGOKUI プレゼントキャンペーン
実施企業：UHA 味覚糖株式会社

日本最大級のトレードショー！

第87回東京インターナショナル ギフト・ショー® 春2019
テーマ：健康でアクティブな暮らし方への挑戦 PARTⅡ

東京インターナショナル ギフト・ショー® 春2019
The 5th LIFE×DESIGN
テーマ：Let's discover the design of Japan!!

第59回インターナショナル プレミアム・インセンティブショー® 春2019
テーマ：未来の販促・広告・集客・マーケティングを大公開

The 25th GOURMET & DINING STYLE SHOW® Spring 2019
テーマ：地方創生、新時代。地域から人へ、そしてコトへ。

会期 2019 2/12(火)-15(金) 10:00~18:00 (最終日16:00まで)
会場 東京ビッグサイト（全館）

流通関係者のみ対象です。

招待状 お申込み受付中！
https://www.giftshow.co.jp

主催：㈱ビジネスガイド社 インターナショナル・ギフト・ショー事務局
TEL:03-3843-9851(直) FAX:03-3843-9850

博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。

IIDA
飯田電機工業株式会社
http://www.iidae.co.jp/

□イベント事業本部　〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-21 TEL 03-3521-3522 FAX 03-3521-3524
□千葉事業所　〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田2-38幕張ビル TEL 043-273-2441 FAX 043-273-2531
□池袋サンシャイン事業所　〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4文化会館3F TEL 03-3982-9551 FAX 03-3982-9564
□大阪事業所　〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-9-9阿波座パークビル TEL 06-6543-2880 FAX 06-6543-2884
□インテックス大阪事業所　〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102インテックス大阪内 TEL 06-4703-5401 FAX 06-4703-5402
□本社事業本部　〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7表参道IIDAビル TEL 03-3409-3333 FAX 03-3409-0104
□東北事業所　〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17仙台一番町ビル6F TEL 022-716-2077 FAX 022-716-2078

□本社　〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 TEL 03-3409-3331 FAX 03-3409-3827

face to face を科学するイベントメディア

オンラインも強い
EVENT MARKETING

最新ニュースやアーカイブ、
バックナンバーも読めるウェブサイト

特集記事の裏話や
イベマケ編集部の
日常がわかるメルマガ

http://www.event-marketing.co.jp
Facebook と Twitter もやってます

OPEN 多目的利用の「神田明神ホール」も

―― 神田明神文化交流館「EDOCCO」

12月15日、神田明神文化交流館「EDOCCO」が開業した。創建1300年の記念事業として、伝統×革新のコンセプトのもと、神社の新たな挑戦として伝統継承と新たな文化創出で憩いの場を目指している。総合プロデュースを乃村工藝社のチーフプランナーで東京スカイツリータウン®・東京スカイツリー®・東京ソラマチ®を手がけた坂爪研一氏が、内装設計のデザインを同社デザイナーの大西亮氏が手がけている。

地下1階、地上4階の5フロアで構成されており、1階は神札授与所、物販の「EDOCCO SHOP -IKI IKI」・飲食スペース「EDOCCO CAFÉ-MASU MASU」。4階は貴賓室。

地下1階の日本文化交流館では、ニッポン体感としてインバウンド向けに本格的な日本の伝統文化や芸能を体感・体験・伝承することができる「EDOCCO STUDIO」がオープン。東京で最も新しくて歴史あるユニークベニューとして注目されている。

また、2-3階は多目的ホール「神田明神ホール」があり、天高6.9m～7.2m、ホール316.6㎡・ホワイト150㎡とデッキまで一体利用ができる。3階部分にはVIP席・ラウンジも設けられている。

セミナー、講演、各種式典、発表会ほか、ジャパンカルチャーの発信地として、ライブ・コンサートにも対応する。

さきがけて行われたホールの内覧会後には、企業やエンタメ関係者から問合せがふえ、外資系企業などからの関心も高いという。週末は7～8ヶ月先、平日は5ヶ月先まで利用申込み・問合せが続いているという。

中央奥のガラス張りの建物が12月15日に開業した神田明神文化交流館「EDOCCO」（写真上）。2-3階は多目的ホール「神田明神ホール」（写真右上）。1階で販売されている「神社応援（ジンジャーエール）」。

PICK UP 万博で盛り上がる大阪イベント・シーンのセッションも

―― イベントJAPAN2019

最新の集客、販促、イベントツールの展示会「イベントJAPAN2019」が1月29・30日の2日間、東京ビッグサイトで開催される。

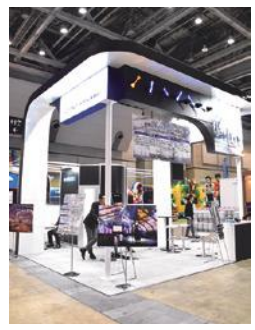
アミューズメント・パークの遊具や大型イベント用品など大規模な展示と、会場内特設ステージでのアトラクションをはじめ、見ているだけでも楽しく、イベントのアイデア想起につながる同展は、今回で12回目。

毎回人気が高いセミナーだが、今回注目を集めているのは1月29日13:30からの大阪観光局のセッション。「万博開催が決まり加速する大阪のイベント・シーン」をテーマにMICE推進部の東條秀彦氏が登壇する。

また、（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会企画財務局アクション＆レガシー部の担当者が「東京2020参画プログラムについて」で講演する（30日11:30～）ほか、「世界一への挑戦を活用したイベント～企業のアニバーサリーイベントの効果的な活用方法～」をテーマに、ギネスワールドレコーズジャパン㈱と㈱JTBコミュニケーションデザインが活用事例を展開する（29日11:30～）。多様なタイプのイベントでの知見や体験談が語られる貴重な機会になりそうだ。

ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、活況が見込まれているイベント業界。そのなかで同展では、最新の集客、販売促進、イベントツールをもつ企業のみならず、異分野から参入の企業などが集まり、イベント関係者に求められる多種多用なニーズに応える。1月開催の同展で、年間のイベント計画を構築できそうだ。

本紙「月刊イベントマーケティング」も出展。ハンググライダーVRなどを展開する。



サクラ インターナショナルの
主催者サポートチームは

チームの8割が
多言語対応可能と
専門知識で

本当に凄いんです！

こんなことも対応可能
1日平均300通を超える英文メール対応
オーダー専用WEBサイトのディレクション運用
主催社との英語のみでのTV会議
リギングルールに関する英国建築事務所・安全管理事務所・会場との調整
更には、現場でも直接ブースへ　顔が見える安心なサービス提供
勿論、英語、中国語、韓国語等々での対応

SAKURA International Inc.
http://www.sakurain.co.jp

東京グローバルオフィス　Tel:03-5646-1160
〒135-0042　東京都江東区木場 2-17-13
第2亀井ビル 5F

大阪本社　Tel:06-6264-3900
〒541-0051　大阪市大阪市中央区備後町1-7-3
ENDO堺筋ビル3F・4F

最新の「集客」「販促」「イベントツール」の商談会

イベントJAPAN 12th 2019

『集客、販促、イベントの新時代』に向けて
2019年1月29日㈫ 1月30日㈬

入場無料
名刺をご持参ください

会　場　東京ビッグサイト 西展示棟 西1ホール
開催時間　1月29日(火)10:00～18:00
　　1月30日(水)10:00～17:00
入場料　入場無料(名刺をご持参ください)

入場をスムーズにしていただくために事前登録をお薦めいたします。
事前登録はこちらから
https://eventregist.com/e/eventjapan2019

主　催　(株)インタークロス・コミュニケーションズ
協　力　一般社団法人日本イベント産業振興協会
　　一般社団法人日本イベントプロデュース協会
　　日本イベント業務管理士協会
　　日本イベントネットワーク協会
運営事務局　(株)インタークロス・コミュニケーションズ

★出展商品・サービス
・アミューズメント・アトラクションツール　・イベントパッケージ　・映像関連　・特殊効果　・特殊車両　・テント　・通信機器　・LED関連　・イベント企画制作会社、人材派遣会社　・スポーツ関連　・総合レンタル会社　・WEB、IT技術、集客システム　・設営、施工、展示装飾、空間演出　・特殊印刷技術　・オリジナルノベルティ、オリジナルフィギュア、オリジナルSP商品　・イベント関連団体、業界紙　・誌　・その他

★セミナー
1月29日(火)
11:30～12:30
「世界一への挑戦を活用したイベント」
～企業のアニバーサリーイベントの効果的な活用方法～
ギネスワールドレコーズジャパン㈱　ブランド&マーケティング部
シニア・マーケティング・マネージャー　マクミラン 彩 氏
㈱JTBコミュニケーションデザイン　ミーティング&コンベンション事業部
ゼネラルプロデューサー　塩谷 久美子 氏
13:30～14:30
「万博開催が決まり加速する大阪のイベント・シーン」
(公財)大阪観光局　MICE推進部　東條 秀彦 氏

1月30日(水)
11:30～12:30
「東京2020参画プログラムについて」
(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
企画財務局　アクション&レガシー部
13:30～14:30
調整中（HPをご覧の上ご確認ください）

内容、出展社の最新情報は・・・
イベントJAPAN 2019　検索

■お問い合せは・・・
「イベントJAPAN 2019」運営事務局
株式会社インタークロス・コミュニケーションズ
〒101-0032　東京都千代田区岩本町3-7-2スチノビル2階
TEL.03-5820-7161　FAX.03-5820-7166
URL:http//www.intercross-com.co.jp

ココロ動く！企画の舞台裏

antenna TOKYO* LIFE

#08 株式会社 DECENCIA

継続実施でヒットを積み重ねる

マーケティング施策を再考している方にお届けするコーナー。キュレーションアプリantenna*に掲載されたイベントの企画仕掛け人の先輩に「なぜイベント？」「効果は？」と素朴な疑問を聞いていきます。

＊　＊　＊

ポーラ・オルビスグループの敏感肌専門ブランドDECENCIA（ディセンシア）。12月にantenna*と共同で『冬のお肌のお手入れ体験講座』を初めて開催した。その狙いや効果とは。

多田隈 文さん
株式会社 DECENCIA
マーケティング部
顧客開発グループ
広報宣伝部 広報宣伝課

Q. なぜ体験講座を開催したのですか

今回のスキームは3段構成になっています。商品訴求の記事、美容家の方をキャスティングした記事、そして講座を開催してのイベントレポートの発信、という段階構造です。記事を読んだ方が講座に興味を持ってくださっても嬉しいし、逆に講座にいらした方が弊社のサイトに訪れて、商品を見てくれてもいい。それぞれが相互に作用し合うように設計しました。中でも講座という部分では、公式サイトによる定期お届けサービスで、実店舗をもたない弊社にとって稀な、お客様と直接の接点が持てるアプローチです。実際に文字では伝えきれないけれど、体験してもらえたら一瞬でわかっていただける実感性を大切にしたい思いがありました。

また、antenna*さんとコラボには、信頼のおける人同士のネットワークの中で、ご参加いただいた方の声や口コミから、弊社商品に安心感を持っていただけるのではないかという思いもありました。

Q. KPIはどう設定されましたか

今回の講座を含めたスキームでは、購入目標やそれに伴うCPAはあえて設定をしていません。もちろんそれらとは別に数値指標はおいていますが、この取り組みが弊社でも初ということもあり、フィジビリの要素も多分にありました。一度の企画でホームランを狙うというよりは、継続実施をすることでヒットを積み重ねるということを視野に入れた試行錯誤の一環として位置づけています。

Q. どのような反応を期待されて体験設計されているんでしょうか

まだまだ認知度の低いブランドですが、使ってみるとその効果を実感しやすく、リピートしてくださる方が多いブランドなので、より多くの方に使っていただきたいと常々思っています。そのため、今回は体験時期にもこだわり、肌の乾燥を実感し始める時期、かつ年末の忙しさでストレスや肌荒れを感じやすい12月にイベント時期を設定しました。そういう時期に弊社商品を体験していただくことで、より肌の違いを実感していただけるのではないかと思ったからです。またチャレンジの一つだったのが、いわゆる手の甲などではなく、お顔そのものに働きかけるアプローチです。いろいろと不安要素もありましたが、ECを主としている私たちが絶対にお目にかかれない、体験中のお客様の表情の変化や喜びの声を目の当たりにできたので、とても良かったと思っています。

図●「『DECENCIA ＜＞ antenna* 冬のお肌のお手入れ体験講座』による認知獲得のアプローチ」

『DECENCIA ＜＞ antenna* 冬のお肌のお手入れ体験講座』は直接の接点として新しいアプローチとなった。

12月8日に行われた『DECENCIA ＜＞ antenna* 冬のお肌のお手入れ体験講座』

共創の可能性を体感

―― IMG SRC PROTOTYPES

デジタルコミュニケーションのクリエイティブカンパニー㈱イメージソースが定期に開催している「IMG SRC PROTOTYPES」が11月27日から30日、D2C HALLで行われた。

イメージソースが先行開発したプロトタイプを、実際に見て体験できるもので、学生から一般までを対象に予約制で実施されたもの。

7点のプロトタイプが展示され、開発者が解説、参加者と実用のアイデアなどを交換した。過去には同体験会を起点に、キャンペーンでの採用や発展があったという。

「FLORIC」体験者が息を吹くと連動して透明な筒の中で紙吹雪が舞う

体験作りには欠かせない、テクノロジーを使った表現やアイデア、デバイスの可能性を拡張する研究などの取り組みの一部が披露された。

本紙ヒグチが大暴れ!?

―― 編集長に叱られる＃01開催

10年後のイベントを考える部活的コミュニティ「イベントの未来をつくる105人」が本格的に活動開始。

その企画の1つが「編集長に叱られる」。本紙編集長の樋口が、イベント業界の大御所、注目プランナーと対談。素朴な疑問をぶつけイベントの“なんで”を掘り下げる。

最初のお相手は、イベント業界注目のSlush Tokyo新CEO古川遥夏さん。絶対ボーッと生きてないと思うが…。1月31日19：00から虎ノ門ヒルズへ。いざ出陣！！

Slush Tokyoのようす。2019年は2月22～23日、東京ビッグサイトで開催

行きたい！食べたい！欲しい！が見つかるキュレーションアプリ
antenna* があなたのイベントを応援します！
イベント告知から集客、
イベントレポートまでフルセットでご提供！
オプションも充実！ インフルエンサーキャスティング・動画撮影・メディア誘致・データ納品など
実施事例も多数！お気軽にお問い合わせください
お問合せ先 antenna_sp@glider-associates.com
antenna TOKYO* LIFE

EVENT MARKETING からの大事なお知らせ
オフシーズンのファンマーケティング
（仮題）次の1月31日号で特集します
私のファンクラブはいつできるの？

2月28日　空間ディスプレイ
3月31日　イベント会場最新情報
4月30日　集客を増幅させるテクノロジー
5月31日　企業イベントの現在と未来
6月30日　映像・照明・音響、イベント演出の最先端

広告出稿の問合せはこちら▷株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp （担当：田中力）

カシータ青山店が映像空間に
―― エプソン販売／タケナカ

レストランウェディングや誕生日など特別なディナーの場として人気のCasita 青山店で、プロジェクターによる映像空間演出を開始した。

3 階の MAIN DINING には壁面の 5 枚の絵画の演奏家たちが音楽に合わせて動き出す演出を、6 階の LOUNGE ではテーブルに置かれたカップに映像が追随するセンシングを活用した映像を施した。

空間演出を手がけたエプソン販売の小川浩司取締役販売推進本部長は「Casita 様のきめ細やかなおもてなしとレストランの雰囲気に馴染む映像演出ができたのでは」と語った。

絵画の中の演奏者が動く

設置された照明型の LightScene EV-100 と EV-105 は 3 LCD 方式採用により投影映像をノイズなくインスタ映え写真が撮れるのもポイントだ。

言葉が AR 空間でバトル！
―― SEED3　レイ内覧会

映像によるイベント演出やコンテンツ制作を手がける㈱レイは、12 月 12 日から 3 日間、東京・六本木のアクシスギャラリーでデジタルコンテンツの企画展「SEED 3」を開催した。

会場では、機器メーカーや研究機関と共同開発した 10 個のデジタルコンテンツを展示した。

「ポッピングボイス」はタブレットに向かって話した言葉が、AR 空間に飛び出し、複数のプレイヤーの言葉が空間で衝突する。透明スクリーンに投影すれば大勢で見える。AR 応援合戦のような使い方でイベントの盛り上げに一役買いそうだ。

演出企画のアイデアの種を体験した来場者は、自社イベントにどう活用するか発想を膨らませていた。

湾曲 LED と映像生成の flow-rium

グローバルな xMC 目指しディセニアルミーティングを
― サクラインターナショナル

国内外で MICE 開催をサポートするサクラインターナショナルは創立 40 周年を迎え、12 月 19 日に東京国際フォーラムで「SAKURA International Decennial Meeting」を実施した。全社員 218 人のほか、海外協力会社 30 社、60 人を招待。国内の協力会社も多数参加した。ディセニアルは 10 年ごとの意味。

グローバルにビジネスを展開する同社らしく、ビジョン発表やパネルディスカッションは一部を除き英語で行われた。

妙代社長は、MICE の各セグメントでの取組みや業績の推移を説明した後に、Associate Management Company (AMC) をはじめとする xMC へと業務範囲を拡大し、Global MICE Producer としての成長ビジョンを表明した。

そのほか近年中の IPO や、5 年以内の売上 1 億ドル、2030 年に売上 10 億ドル突破、2019 年開業予定の奈良倉庫に社員教育センターの併設といったゴールを説明した。各セクションの代表者も 10 年後のビジョンを発表。

パネルディスカッション 1 では、「ここが変だよ、日本の施工現場！」をテーマに実施。経師紙で仕上げる日本装飾とラミネート・塗装が多い海外装飾、1 次 2 次と分かれる日本の電気工事について、安全を配慮した国内企画や施工時間の違いによる異なる工法などそれぞれの事情や解決策、身につく技術について語った。

パネルディスカッション 2 では、台湾・高雄展覧館の徐建國董事長と ICCA アジア太平洋ディレクターのノア・ハミッド氏、サクラインターナショナル取締役ジャスティンオーガスト氏、同ラスベガス所長のトラバース・スチュワート氏が登壇。MICE 産業の発展性と、10 年後も成長を続けるためのコラボレーションとクリエイティビティなどを論じた。

懇親会では、連獅子のパフォーマンスや、海外の多様な形式のじゃんけん大会などの催しが行われた。

感性×技術テーマに開催
―第 21 回イベント学会

イベント学会は 12 月 6 日、大田区民ホールアプリコで「第 21 回研究大会」を開催。第 1 部は AR スポーツ、プロジェクションマッピング、位置情報マーケティング、ドローン演出などの事例が発表された。

MICE 関係者が一堂に
―JCMA 中間総会

（一社）日本コンベンション協会（JCMA）は 12 月 11 日、グランドニッコー東京台場で、意見交換会を実施した。会員社からの約 200 人が参加したほか、来賓が出席。MICE 発展を合言葉に懇親を深めた。

体験価値高める 12 点のプロダクトを展示
―― #SnSnap プロダクト展示会

O2O マーケティングソリューションを手がける㈱ GENEROSITY は、1 月 16 日から 18 日の 3 日間、FORUM 8（渋谷区）で「#SnSnap プロダクト展示会」を開催する。同社はファッション・コスメなどのラグジュアリーブランド、スポーツ、地方自治体など幅広い業界にサービスを提供。導入実績は 950 件を超える。

今回の展示会では、#SnSnap プロダクト全 12 点を展示。オリジナル写真の撮影ができるカメラサービスやクリエイティブな動画撮影ができるサービス、SNS と連動したサービス等、リアルイベントをはじめとするオフラインでの体験価値を高めることを目的としているプロダクト全てのサービスを体験することができる。

展示会への参加は事前予約制。申込は、1 月 11 日 19 時まで専用フォームで受付けている。

https://chouseisancal.com/generosity.co.jp

#SnSnap プロダクト展示会
1 月 16 日 (水) 10:00 ～ 19:00
1 月 17 日 (木) 10:00 ～ 19:00
1 月 18 日 (金) 10:00 ～ 17:00

イベンター・マーケター向け

1 月のセミナー・イベント

8～11 日
CES
@ラスベガス

9・10 日
第 1 回北海道 IR ショーケース
@アクセスサッポロ

12・13 日
お金の教養フェスティバル
@東京ビッグサイト

16 ～ 18 日
#SnSnap プロダクト展示会
@ 渋谷ＦＯＲＵＭ８
第 48 回ネプコンジャパン
@東京ビッグサイト

23 ～ 25 日
第３回【関西】Web& デジタル マーケティング EXPO ほか
@インテックス大阪

24 日
デジタルマーケティングカンファレンス
@宣伝会議セミナールーム

29 日
デジタルマーケティングカンファレンス
@ TKP ガーデンシティ PREMIUM 札幌大通

29・30 日
イベント JAPAN2019
@東京ビッグサイト

29 ～ 31 日
ダイレクトアジェンダ 2019
@ホテル＆リゾーツ別府湾

30 ～ 2/1
第２回販促・マーケティング総合展【春】
@幕張メッセ

次号予告 43 号は 1 月 31 日発行
＜特集＞
オフシーズンのファンマーケティング（予定）

本展にご来場いただくと 今年（2019年）のマーケティングトレンドが分かります

販促・マーケティング総合展 2019年 春 内
第2回 Web 販促 EXPO 春
会期：2019年1月30日[水]～2月1日[金] 10:00～18:00（最終日のみ17:00終了）
会場：幕張メッセ 9～11 ホール

業界トップ34名による マーケティングセミナーを併催！ ※一部抜粋（敬称略）

WS-S EC戦略 1月31日[木] 15:30～17:00 無料
消費者の「売る」「買う」のモチベーションを刺激する、マーケティング戦略
(株)メルカリ マーケティンググループ シニアマーケティングスペシャリスト 南坊 泰司
ナノ・ユニバースが語る、ECと店舗の融合戦略
(株)ナノ・ユニバース 経営企画本部 WEB戦略部 部長 越智 将平

AD-S 広告戦略 1月30日[水] 10:30～12:00 無料
お客様と絆をつくるブランドづくり
エステー(株) 執行役 エグゼクティブ・クリエイティブディレクター 鹿毛 康司
ミクシィの戦略「ユーザーサプライズファースト」の体現 ～モンストのバイラルマーケティングから学ぶ～
(株)ミクシィ 執行役員 マーケティング本部長 根本 悠子

セミナー・招待券（無料※）のお申込みは Web販促 EXPO 検索
※招待券をお持ちでない場合、入場料 ¥5,000/ 人かかります。
[お問合せ先]
主催者 リード エグジビション ジャパン(株) Web販促EXPO 事務局
TEL: 03-5324-1289 Web: www.sp-world-spring.jp/wsp/

シェアしたい 2018年のイベント

年間10回以上イベントに参加している皆さんに、「2018年印象に残ったイベント」をお聞きしました。

イベマケ・田中

ヒグチ編集長が2018年印象に残っているイベントってある？

う～ん、10人程度のもの入れると今年は80くらいのイベントに行ったから、そのなかから一つは難しいなぁ…手前味噌だけど、「BACKSTAGE2018」！

イベマケ・樋口

ほぉ、そうきましたか！主催イベントじゃんっ

まぁそうなんだけど今年はモデレータとして登壇したからね。主催者、企画者の裏方や参加者としてイベントをみてきたけど出演者の視点は新鮮だった。その経験を元に変化を感じたし。田中さんは？

「地味ハロウィン」かな？みんな妙にクオリティーが高かった！2019年も新しいイベント体験を届けますよっ

湯原 良樹さん
株式会社マルケト
マーケティング本部 プログラムマネージャー

PROFILE
株式会社マルケトで日本市場のディマンドジェネレーション、マーケティングインフラ構築を担当。

年間イベント参加数：25回

「ゲームセンターCX感謝祭」

印象に残ったポイント・理由

“ファンの皆がコンテンツ”

・運営スタッフやお客さんもコンテンツにしてしまう
・ゲームの上手さではなく、下手だけど繰り返し頑張ることに魅せられてしまう
・来れなかったファンのことも敬えるファンのロイヤルティの高さ

宮川麻衣子さん（左）、
曽我浩太郎さん
未来予報株式会社 代表取締役

PROFILE
未来像｛HOPE｝をつくる専門会社。イノベーションリサーチを強みに、戦略コンサルティングを行う。書籍「10年後の働き方」が発売中。SXSW公式コンサルタント。

年間イベント参加数：5-10回

「Sleep No More」

印象に残ったポイント・理由

“共感をつくる体験設計”

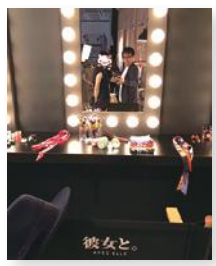
「Sleep No More」というオフブロードウェイの体験型のシアターです。廃ホテルを一人で探索しながら同時多発的に起きているハプニングを見て芝居の展開を探るのが楽しい。誰もが違う体験になるため終演後にお互いの情報を補完し合って共感を生む仕組みも絶妙。

島袋 孝一さん
キリン株式会社
デジタルマーケティング部

PROFILE
2004年「株式会社パルコ」入社。2016年「キリン株式会社」に転職。キリングループの横断的デジタルマーケティングの専門セクションであるデジタルマーケティング部に所属。

年間イベント参加数：約20回

「エルメス「彼女と。」」



印象に残ったポイント・理由

“上質かつ圧倒的没入感”

・前）スマホ特化した来場予約システム
・中）ブランドコンセプトを具現化した上質な空間～来場者を取り込み一体化するストーリー
・後）来場者ごとカスタマイズのアフタームービー

小島 健太郎さん
株式会社ウエス
No Maps実行委員会 事務局

PROFILE
2007年株式会社ウエス（札幌市）入社。2016年よりNo Mapsコンベンションの運営に携わり、音楽ライブやカンファレンスの企画制作を行う。

年間イベント参加数：約50回

「FESTIVAL de FRUE 2018」

印象に残ったポイント・理由

“完璧に洗練された音楽”

FRUEはジャズ・ワールド・テクノなど、1ミリの妥協もない究極の音楽を奏でるアーティスト達と、それを味わう事のできる感度の高いオーディエンスが集まって至福を共にする桃源郷でした。

中村 朝紗子さん
株式会社Morning Labo 代表取締役

PROFILE
在学中「撮影女子会」をリリース。同世代の共感を得て、テレビや雑誌でも話題に。現在は”語りたくなる体験”を仕掛けるプロとして、シェアに繋がる施策を数々提案

年間イベント参加数：約50回

「VINYL MUSEUM」

印象に残ったポイント・理由

“ミレニアル世代を刺激する設計”

床や天井の柄にもこだわったボックス型ブースに徹底。同じ場所で撮っても、ポーズやアングルで別の絵が撮れるのは、ミレニアル世代の「自分らしく撮りたい」を刺激する。見事な体験設計だった。

「Work Story Award 2018」

印象に残ったポイント・理由

“働くを変える機運作り”

企業文化を創る、働く環境を改革するなど、一般的にはあまり表に出ないバックオフィス側の物事に焦点を当てることで、その企業の取組みを称えると共に改革の機運を社会に広げている点。

EVENT MARKETING
FREE PAPER

特 集
イベントマーケティングのトレンドを国内外の事例や動向から分析し、マーケター・イベンターの皆さんと共有します。

国内・海外ニュース
ツールやテクノロジーの最新情報、開催直前概況・事後レポートなどを紹介します。

コラム
幅広い視野と独自の視点、経験をもつ著名人が執筆します。

インタビュー
リアルコミュニケーションを楽しくをテーマに話題の方々ほか、イノベーター、イベントマーケター、主催者の声を収録。

調査・レポート
効果測定や開催状況の集計、効果最大化の手法など、face to faceを科学するレポートをお届けします。

読者Profile

大手メーカーマーケター
▶年間イベント件数：約20件
デジタルマーケティングとオフラインを組み合わせて販促とファンづくりに

製薬会社 ミーティングプランナー
▶年間イベント件数：100件超
業界のファーストムーバーとして異業種のトレンドを知り講演会に活かしたい

IT企業向け マーケティングサポーター
▶年間イベント件数：約150件
イベントマーケティングに関わるテクノロジーやツールについて情報収集したい

毎月30日発行

定期送付申し込み
発行所：株式会社MICE研究所
〒105-0004 東京都港区新橋5-12-9
ABCビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp